

SUPPORTERS

サポーターズ No.163 2024 春号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 955名 施設数 162 (R6.2.16現在)

「supporters (サポーターズ)」とは… 我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

能登半島地震で犠牲となられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。そして支援に関わった全ての方々に感謝申し上げます。

さて今誌のテーマは「医療・介護・障害福祉のトリプル改定を読み解く」です。この改定は私たちの働き方を左右する関心事です。より多くの会員の理解を切に所望いたします。



山梨県理学療法士会 会長
磯野 賢
甲州リハビリテーション病院

令和6年1月1日に発生しました能登半島地震でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災されました方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。今後の災害関連を減少させるべく様々な形でご支援できればと考えます。

さて、今回は、「医療・介護・障害福祉のトリプル改定を読み解く」というテーマに沿った挨拶をということでお題をいただいております。改定自体が十分に明らかになっていないなかで読み解くというのは非常に高いハードルでありますので、どのようなテーマが中心にあるのかということを考えて行きたいと思っております。

まず、ご存じのように診療報酬改定は2年に1度、介護報酬及び障害福祉サービスは3年に1度大きな改定が行われるため6年に1度この3つが同時改定となり、運動性を持った大きな改定となることが多いとされています。また地域包括ケアシステム推進は、2025年団塊の世代が後期高齢者になるのに向けて進められてきたものでその前の最後の同時改定ということが大きな意味を持っています。

診療報酬改定基本方針及び介護報酬改定に関する基本的な考え方では、大雑把に言いますと人材確保・連携強化・継続性の3点が大きなテーマになっているかと思っております。それは、人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、医療・介護を取り巻く様々な課題（例えば、物価高騰、新興感染症等への対応、医療 DX やイノベーションの推進等々）にしっかりと対応し、社会保障制度の安定性・持続可能性の確保が必要となっているためです。

また、日本理学療法士協会では、この改定に向けて、継続的かつ十分な賃上げ等の処遇改善による人材確保の推進、質の高いリハビリテーションの適切な評価、介護予防と保健事業、健康増進のさらなる推進及び人材育成の義務化等々を要望してきました。我々としても、ただ賃上げを要望するということではなく、我々が質の高いサービスを提供することにより医療費の削減や介護報酬の抑制につながるということをしかり示せるということが重要であると考えます。

今後改定内容が明らかになってきますと現場としてしっかりと対応できることは重要ですが、それだけでは一時的なものになってしまいがちです。是非ともなぜそうなったかを知り、未来に向けて考えて行くことが出来れば今後につながるものと思われれます。今回の改定が理学療法士としてあるいは理学療法士会としてはそのような機会に出来ればと思っております。

CONTENTS

2024年度 医療・介護・障害福祉のトリプル改定を読み解く… 2～3
～連盟は理学療法士のためにある～ 連盟会長挨拶 …… 4

活動報告 …… 5
事務局からのお知らせ …… 6～7
リレーエッセイ Part 45 …… 8～9
原稿募集 …… 8 編集後記 …… 9

2024年度 医療・介護・障害福祉の トリプル改定を読み解く

福祉厚生局長 鈴木 聡
湯村温泉病院

このたびの「令和6年能登半島地震」で被災された皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の一日も早い復興をお祈りいたします。

令和6年度診療報酬改定・介護報酬改定「6月」施行へ

改定作業への負担を考慮し、令和6年度診療報酬改定より、薬価改定は「4月1日」に施行し、薬価改定以外の改定事項については「6月1日」に施行することになっています。介護報酬改定についても訪問看護、通所リハ、訪問リハ、居宅療養管理指導は「6月1日」の施行とし、その他のサービスについては「4月1日」の施行に決まりました。

基本認識4つ

昨年の12月から徐々にトリプル改定の情報が出てきていますが、我々理学療法士の処遇改善・賃上げは実行されるのか、ポスト2025年を見据えた医療・介護の提供体制はどうなるのか、この2つに注目しております。現時点(正月)での情報から、私の見解となりますことをご了承ください。

改定にあたっての基本認識は以下の4つになります。

- ▶ 物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応
- ▶ 全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、新興感染症等への対応など医療を取り巻く課題への対応
- ▶ 医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現
- ▶ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

診療報酬改定 リハビリ専門職等の賃上げ、財務省が明記

令和6年度診療情報改定では、人件費となる本体部分は0.88%引き上げ、薬価部分は1%引き下げとなり全体では5年連続となるマイナス改定となりました。介護報酬は1.59%、障害福祉サービス等報酬は1.12%の引き上げとなり、同時改定で初めて介護報酬の改定率が診療報酬の改定率を上回ったとのこと。

特筆すべきは財務省ホームページ「社会保障関係予算」にて、診療報酬改定率+0.88%（国費+822億円）『看護職員、リハビリ専門職等の医療関係職種等の賃上げ ※令和6年度ベア2.5%、令和7年度ベア2.0%』と明記されたことにあります。20年間変化のなかった所定内給与額のアップが見込まれ、人員確保・離職防止への大きな一歩になりそうです。

介護報酬・障害福祉サービスにおいても処遇改善のためのプラス改定となり、複雑化していた処遇改善加算の一本化がなされています。このような賃上げ部分のプラス改定が継続的に行われることを期待しますが、保険料が増額すると当然ながら患者・利用者の負担増につながります。

本体部分の国費822億円のうち、254億円は消費税財源により対応となっているものの、令和6年度同時改定においてはトータルでは国民の保険料負担は増えると思われます。今後は全世代社会保の実現を目指していきますので、負担能力に応じた支払いとなりそうです。理学療法士はそれらを踏まえたうえでより一層質の高いサービスの提供に努める必要性を感じます。

医療・介護分野でのDX化推進

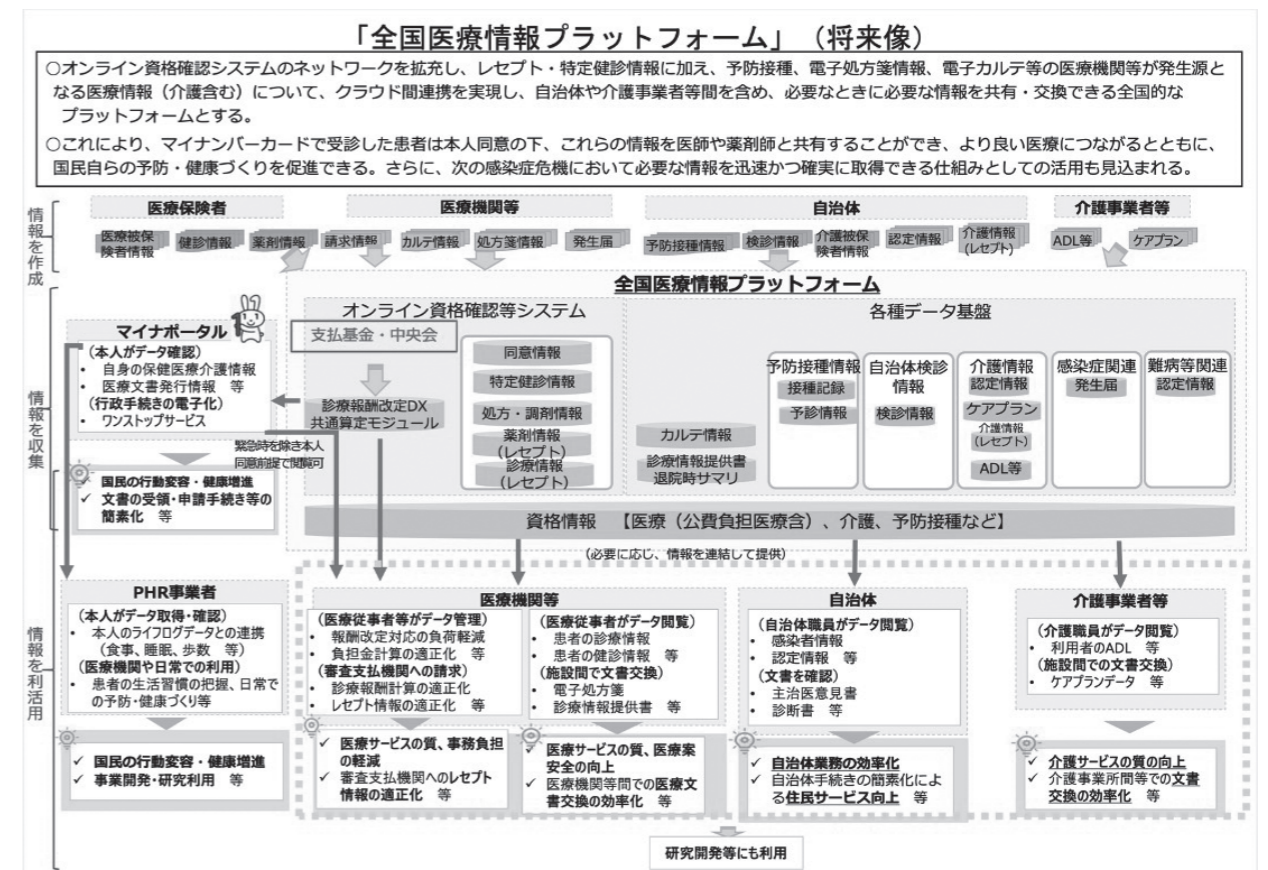
医療・介護連携の強化についてはこれまでもずっと課題となっておりますが、情報共有のための書類作成などに費やす時間と労力は少なくありません。医療・介護分野でのDX（デジタルトランスフォーメーション）化が進めば、理学療法士が関わる分野においても業務効率化が期待されます。

病院理学療法士においてはタスクシフトも重要で、医療クラークの育成および連携強化の必要性を強く感じます。介護保険分野においては特に情報共有の簡素化は切望するところで、ICT化により紙媒体による手渡しやFAX等から、データ連携に変わることによって事務作業の省力化が進み、負担軽減だけでなく情報連携の強化につながると考えています。また、医療DXの普及により、利用者の医療情報も得られやすくなり、リスク管理がしやすくなるかもしれません。

その他、科学的介護情報システム（LIFE）関連の加算は拡充していく可能性は高く、LIFE対応が経営に大きく影響すると思われます。栄養マネジメントや口腔管理などについて、個別評価と全国平均値との比較（LIFEからのフィードバック）で、より具体的な分析が可能になります。LIFEの浸透により介護保険分野のアウトカム評価は強化されていく見込みです。

いずれにしろDX化は施設全体の課題となりますが、このような業務改善・効率化は働き方を最適化する手段としても有効であり、人員確保につながると考えられます。

業務効率化により患者・利用者との接する時間が増え、質の高いサービスにつながることを期待しております。





連盟会長挨拶
Activity Report

～連盟は理学療法士のためにある～



山梨県理学療法士連盟 会長 小林 泰彦

この度、山梨県理学療法士連盟の会長職を拝命いたしました小林泰彦と申します。何分微力な私ではございますが、皆様方のお力をお借りしてこの大役を果たしていきたいと思っています。長年、古屋正樹先生が築きあげてこられたこの会は、与野党問わず県内の議員の方々とはしっかりと関係が築かれています。この関係を大切に引き継ぎ、継続して連盟活動に取り組んでいきたいと思っております。

これまで何度も発信してきた言葉、「連盟は理学療法士のためにあります」。横の繋がりを持ってなると、面倒で古く感じられるかも知れませんが、プライベートは別として、理学療法を業にしている我々同士が繋がりを持つことは決して無駄ではないと思っております。その無駄ではない事をよく知っているのは経験上位者ではないでしょうか。若い方達へご理解いただくと同時に、その若い方達に慕われる経験豊富な方々に、まずはご理解とご協力を賜りたいと存じます。

今誌のテーマは「医療・介護・障害福祉のトリプル改定を読み解く」です。昔は、単位や日数制限なんて無かったことを思い出します。また、疾患別リハビリテーションや臨床実習指導者要件ができたことで、専門性の確立や教育環境の変化を感じました。そして今春は「リハビリテーション専門職の処遇改善」に期待です。これら全てが法改定による変化です。日本理学療法士連盟の山根会長は、自身の使命として「組織代表を国政に送り、理学療法士の身分を向上させる」を掲げています。私達1人1人が束になって、法改定に関わる組織代表を国政に送ることで、理学療法士の働く環境が変わります。

これまでも、これからでも、山梨県理学療法士連盟の活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。皆で頑張りましょう。

CHECK!

山梨県理学療法士会 広報局 X (旧 Twitter) 始めました

私たち広報局は今までの広報活動を振り返り、一般社団法人山梨県理学療法士会として、山梨県民・士会員に対する広報活動の再検討しました。

振り返りの中では、県民への広報手段が習慣化されていることや、その少なさ。士会員に対し事務局からのメーリングリストや士会ホームページでの「お知らせ」はございますが、会報誌だけでは時間や掲載スペースの制約からタイムリーな「お知らせ」の掲載が行いにくい。士会活動の「見える化」が進まないなど。

これに対し、昨今のDX (Digital Transformation) に習い、他団体・企業も活用しているSNSを導入し、山梨県民や士会員の皆様にタイムリーな情報提供を行っていきたく考えました。

士会員の皆様へ「山梨県理学療法士会 広報局」のX (旧 Twitter) のフォローと拡散を、是非ともお願いいたします。

広報局は各部局・委員会等より掲載したいデータを募集しています。以下の留意点に注意して広報局会報部にデータを送信してください。

お知らせ等：学会や市民講座などポスター等、画像がある場合は添付してください。

活動報告等：講習会などの聴講風景や研修会の風景、市民への活動風景等、肖像権や著作権に対し侵害しない配慮が必要です。

(講習会開始時に、講演者や聴講者に撮影許可を得る。講演者にはスライドを写して良いか尋ねる等。)

動画掲載：ご相談ください。同様に肖像権や著作権に対し侵害しない配慮が必要。



山梨県
理学療法士会
広報局

★ 問い合わせ先：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

各部活動報告

社会局 スポーツ理学療法部

□ 国際テニス大会の帯同を経験して



医療法人こうの会 こうの整形外科 リハビリテーション 山下 太輔

令和5年11月13日から11月19日の期間、北杜市のクラブヴェルデにてEDION CUP 2023 ITF Juniors in Yamanashi が開催されました。EDION CUP は ITF (国際テニス連盟) 公認の海外選手も参加する国内最大級のテニスツアーの一つであり、本大会は18歳以下のジュニア選手を対象とした大会でした。大会主催者から依頼を受け、我々はフィジオスタッフとして全日程にスポーツ PT 部員1から2人に対応しました。私は大会最終日に対応し選手やスタッフに対するコンディショニングやテーピング、試合中のコート内で生じた傷害における救急処置対応を行いました。特に試合中はその場で評価し、プレー続行の可否や選手とコミュニケーションを図り最善の処置を選択しなければならず、普段の業務内容とは異なり大変貴重な経験でした。テニスのルール上、コートでの対応は処置時間が3分間しか使えず迅速に行う必要があり、その知識や技術、経験不足を痛感しました。今後も多くの経験を積み、選手達に生かしていきたいです。

今回の経験をスポーツ PT 部全体で共有しスキルアップにつなげ、山梨県でのスポーツ活動を盛り上げていきたいと思っております。

★ 問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部 小林 幸一郎
(E-mail : kokobayashi@yamanashi.ac.jp)

社会局 スポーツ理学療法部

□ レスリング大会の活動に参加して

山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法課 古屋 美智留

令和5年12月26日、小瀬スポーツ公園体育館で開催された「2024 JOC 全日本ジュニアレスリング選手権大会 U-17 U-20 関東ブロック代表選手選考会」及び「2024 JOC アジア選手権 U-15 関東ブロック代表選手選考会」のサポートに参加しました。今回は国立スポーツ科学センターの橋本立子医師とスポーツ理学療法部員5人で救護所とマット上での外傷・障害の処置など49件の対応をしました。その内容は捻挫や靭帯損傷など整形外科の疾患への対応ばかりでなく、顔面・四肢の出血や頭部外傷など様々で止血処置などの幅広い知識が必要です。また競技独自のルールの把握も重要であり、特にレスリング競技はマット対応の処置時間に制限があり呼ばれた際には緊張する場面が多くありました。



スポーツ現場では迅速かつ的確な評価や処置、競技継続可否の判断が求められます。私は今回のサポートで「知っているのと出来るは違う」ということを痛感しました。緊迫した現場の中でも日頃勉強していることが発揮出来るよう、今後も自己研鑽を重ねていきたいです。

★ 問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部 小林 幸一郎
(E-mail : kokobayashi@yamanashi.ac.jp)

事務管理局からのお知らせ

= 重要なお知らせ =

◆ 会費の納入期限について

2024年度分の会費の納入期限は2024年(令和6年)3月中になります。

クレジットカード、口座振替の会員については、3月中に引き落としになります。
引落登録のない会員については、振込用紙(納入手数料あり)が順次発送されます。
注意:振込用紙を利用されている会員につきましては、

用紙到着から納入までの期限が短くなる場合があります。

3月末までに納入のなかった場合は、4月から会員資格喪失により退会の手続きをさせていただきますことがあります。

*退会となった場合、これまで獲得した各種生涯学習履歴および認証資格等はすべて失効となります。再度入会を希望した場合は「新入会」となり再履修が必要です。

◆「4月以降の異動が決定した場合(特に県外へ)」は、可能な限り早めの申請をお願いします。

◆「休会、退会」を希望される会員は、2024年3月31日に手続きを完了できるよう早めに申請をして下さい。

- *期間内に手続きが完了した場合は、引落決済確定後も後日返金されます。
- *年会費納入確定後4月2日以降に申請をされた場合は、返金されませんのでご注意ください。
- *休会については1年毎の申請が必要です。

会員情報の変更手続き(異動、休会、退会、会費納入方法等)については、
日本理学療法士協会HPの「マイページ」から手続きを行ってください。
マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行したIDとパスワードが必要です。
「IDやパスワードがわからない」という方は、協会HPから再発行の手続きをお願いいたします。
「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、
お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

(公社)日本理学療法士協会 TEL:03-5843-1747

*会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、県士会単独では対応できません。

◆(公社)日本理学療法士協会の年会費割引制度の案内

日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」があります。
詳細は日本理学療法士協会HP「年会費」をご覧ください。

◆ 会員の慶弔があった場合について

一般社団法人山梨県理学療法士会 慶弔規定に基づき対応いたします。
山梨県士会HPの「お問い合わせ」のページ内にある「会員慶事通知フォーム」、「会員弔事通知フォーム」からお願いします。

◆ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会HPの「事務管理局への問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。
インターネット環境がない会員の方は、
山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当 有泉
TEL:0551-22-6112(療法科直通)までお願いします。

◆ メール配信について、アドレス登録のお願い

令和2年9月1日から当士会独自のメール配信システムを稼働しました。令和3年4月からは「紙文書による通知は廃止」、「原則メール配信のみによる通知」となっています。

引き続き会員の皆様には、アドレス登録についてご協力いただきますようお願いいたします。

- ・登録メールアドレスは1会員1アドレスでお願いします。
- ・一度登録したアドレスを変更する場合は、登録解除フォームにて登録メールを解除後に、新しいアドレスを登録しなおしてください。

メール登録フォームURL:

<http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwLaiOgzf>



登録メール解除フォームURL:

<http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwLaiOgzf>



*インターネット環境が無いなどでメール受信が困難な方は事務管理局までご連絡ください。これまでどおり紙文書での通知を行います。

◆ メール配信におけるエラーメールについて

*アドレス登録をしたのにメールが届かない場合メール配信を開始後、エラーメールになるアドレスが一定数あります。

①ご登録のアドレスがキャリアメールの方へのお願い

(@以下が、「docomo.ne.jp」、「ezweb.ne.jp」、「i.softbank.jp」等のアドレス)
キャリアメールは受信に際し初期設定から、セキュリティレベルが非常に高いです。そのためパソコンから送られたメールや、メール内容にURLが含まれるとスパム(迷惑)メールと判断され、「迷惑メールフォルダ」に格納、もしくは受け取れないようになっています。
キャリアごとに解決方法が異なっているので、各社のホームページをご確認の上、下記のメールアドレスのご登録をよろしくをお願いいたします。

yamanashi.pt.jimu@yptamail.info

②登録したメールアドレスが入力ミスにより間違っている

ご登録いただいたメールアドレスに「登録完了のお知らせ」のメールが届いたら登録が完了です。メールが届かない場合はメールアドレスが間違っていると思われるので再度、登録フォームより始めからやり直してください。

また、パソコンやスマートフォンのセキュリティが万全の方は、フリーメール(ヤフーメールやGメール等)での再登録も検討してみてください。



途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 45-1

貢川整形外科病院 小林 裕司

この度加納岩総合病院の松木僚治先生よりバトンを受けました貢川整形外科病院の小林裕司です。県士会の学術研修部部長を拝命し2年が経ちました。研修部が運営する研修会もコロナ禍から抜け、いよいよ対面での開催が再スタートしました。対面開催を経験



していない部員も多い中、第4回学術研修会を無事に終えることができ、あらためて部員の皆と素晴らしい仕事ができ本当に感謝申し上げます。新人の方からベテランの方まで、さらには子育て世代でなかなか研修会に参加しづらい方など、どんな方にもステップアップの機会が届けられるそんな研修会を企画・運営していきたいと思っています。そのために、今後皆様から広くご意見をいただきたいと思っています。その際はご協力ください。また、一緒に活動してみたいという方、yptgkensyubu@gmail.com にぜひご連絡ください。お待ちしております。

今回は石和温泉病院の関野真士先生にバトンをお渡しいたします。

原稿を募集しています!



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。将来的に「X:旧 Twitter」への post も検討しています。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

※ 第164号発行は、2024年9月を予定しています。

原稿の締め切りは

8月中旬です。

● 問い合わせ先: 広報局 会報部 宇月正明
春日居総合リハビリテーション病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

リレーエッセイ

Part 45-2

木下整形外科クリニック 手塚 武士



健康科学大学の犬塚篤也先生よりバトンを引き継ぎました木下整形外科クリニックの手塚武士です。

もうすぐ理学療法士になってから10年が経過するため、今回のお話をいただいてから、この10年を振り返ってみました。臨床現場は、整形外科の外来リハビリ、訪問リハビリ、通所介護の管理職と、ありがたいことに様々な経験をさせていただくことが出来ました。私が10年間にこのような経験が出来たのは、自分の力だけでなく、要所で人との貴重な出会いに恵まれ、転機があったからだと感じています。これからも自己研鑽を継続し、然るべきタイミングにチャンスを掴めるようにしたいです。

また、私生活に関してですが、昨年に娘が生まれ、無事に1歳を迎えることができました。とっても可愛いです!!娘に好かれ、家族の大黒柱として頼られるよう男を磨きたいと思います。

今回は、笹本整形外科の手塚尚輝先生にバトンをお渡しします。宜しくお願い致します。

編集後記



全ての医療・福祉に従事している方々と、お忙しい中、快く執筆をいただいた諸先生方に感謝申し上げます。

「人工自我」という言葉を知った。調べてみると東京大学「道徳感情数理工学社会連携講座」の研究だ。それに留まらず、「意志(欲動・意欲)」や「超自我(モラル・道徳)」まで含めた「感情の地図」なるものを作り、それに基づく数理モデルをデザインし実装可能なエンジンを開発している。TEDでは「感情認識エンジン」を搭載した Pepper も披露された。

哲学者、デイヴィッド・チャーマーズが提唱した「意識のハード・プロブレム」。2001年の著書に「意識を現在の物理学で説明しようとするとうまくいかない、物理学は拡張されるべきだ」との主張を思い出す。

「道徳感情数理工学」のホームページで出ていたもの、反アインシュタイン場仮説、光吉演算子、非ノイマン型コンピュータ…。物理学の拡張、た・か・ま・る。

また会報誌発行の際には引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 【代表】 磯野 賢
- 【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 清水 真琴
- 【編集・印刷】 株式会社 たけまる
- 【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
医療法人 景雲会 春日居総合リハビリテーション病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



